デカスロン取扱説明書

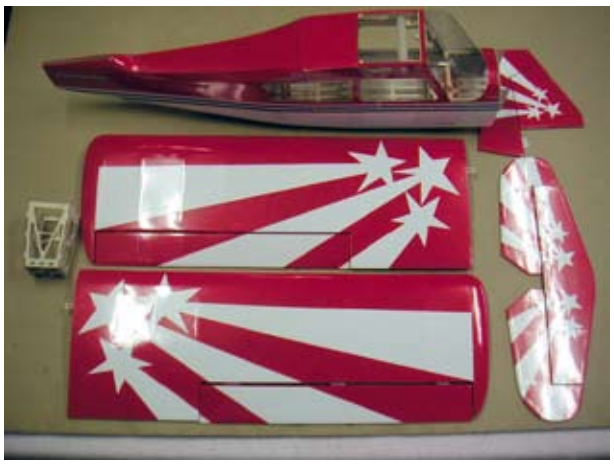
高翼練習機としてもおすすめの、レーザーカットバルサ組みフィルム張り完成機です。電動専用設計で軽量に仕上がっています。フロントキャビンが強力マグネットで着脱でき、バッテリーの交換等が容易です。

デカスロン

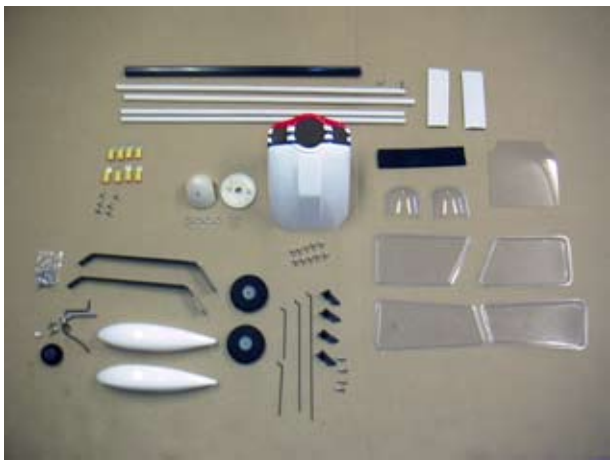
幅　1230mm
長さ 840mm
重量 1200－1250g
翼面積 25,83dm2
ラジオ 4ch4s 1 アンプ

販売価格 28000 円税込み

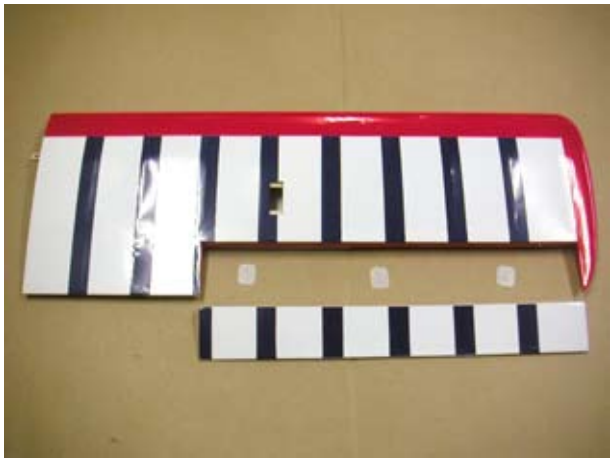
Copyright © 2007 Assist-RC



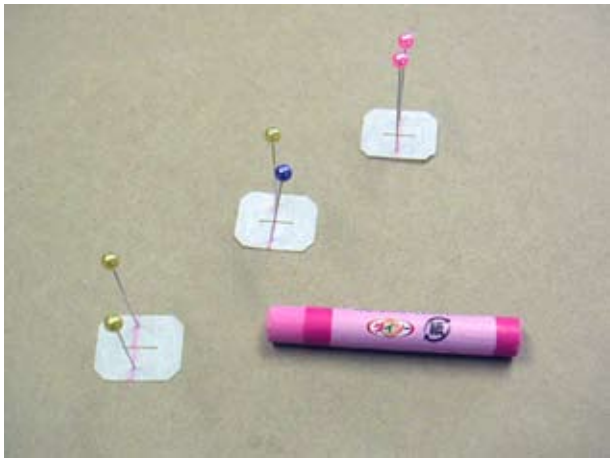
キット内容本体



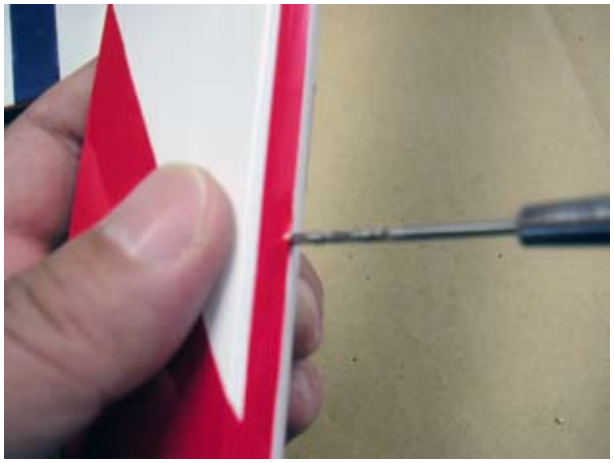
パーツ



主翼にエルロンを取り付けます。



同梱のヒンジのセンターにクレヨンで線を引きマチ張りを刺します。



あらかじめヒンジのスリットは入っていますがより確実にヒンジを接着するためにドリル等でヒンジの入るところにした穴をあけます。

主翼とエルロンをつなぎます。

Copyright © 2007 Assist-RC

位置がよければ低粘度接着剤を流しすぎに注意して接着します。

サーボの取り付け位置にサーボを取り付け、付属のコントロールホーンとロッドを使用しエルロン部のリンケージを行います。

主翼を胴体に取り付けて水平尾翼が左右等距離になる位置を割り出す、若しく水平尾翼の左右の距離を測って適切な取り付け位置を割り出します。

フィルムのカットラインをマークします。

一度尾翼を取り出しカットラインの内側 2 ミリくらいをカットします。

Copyright © 2007 Assist-RC

水平尾翼を胴体に取り付け接着します、接着剤は低粘度瞬間接着剤若しくはエポキシ接着剤を使います。ここでは低粘度瞬間接着剤を使用しています。

垂直尾翼も同様にフィルムをカットして胴体に接着します。

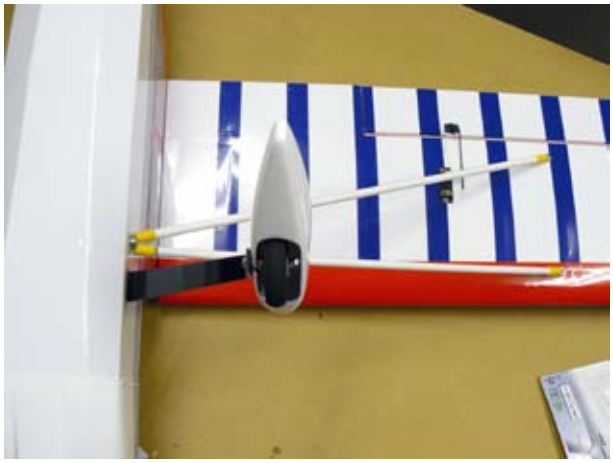
エレベーター、ラダーをエルロンと同様に同梱のグラスヒンジで取り付けます。

胴体後部のサーボ取り付け位置を慎重に割りだしフィルムをカットします。取り付け部分の穴は 4 箇所あります。お好みのつけ方で解けてください、ただし左右にサーボを不ら訳する場合同じ高さにするとお互いのサーボが干渉しますので注意してください。

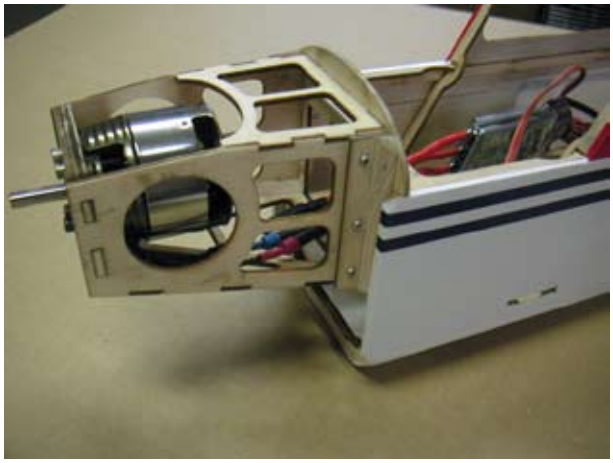
Copyright © 2007 Assist-RC

エレベーター、ラダーサーボを取り付け付属のコントロールホーンとロッドを使用しリンクします。

メインギアの車輪取り付け部を組みます、付属の 3 ミリビスとナットとワッシャを使います。メインギアは左右がありますので注意してください、メインギアに 3 ミリビスを通します、反対側に（車輪側）ワッシャ、ゆるみ止めナット、車輪ナット 2 個の順で組ます。その後スパッツをメインギアとワッシャで挟み固定します。位置を決めたらタッピングビスで固定します。



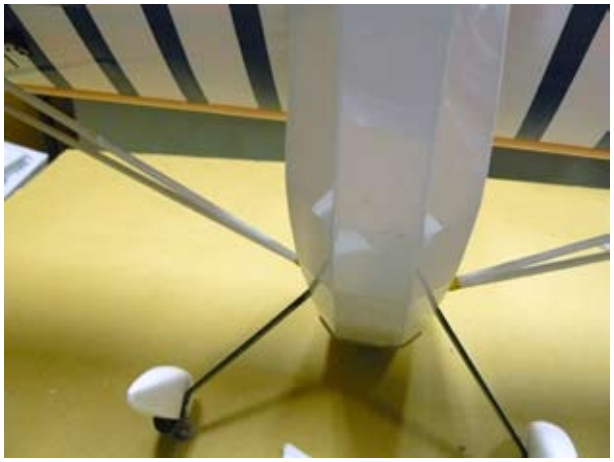
テールギア部分を取り付けます。

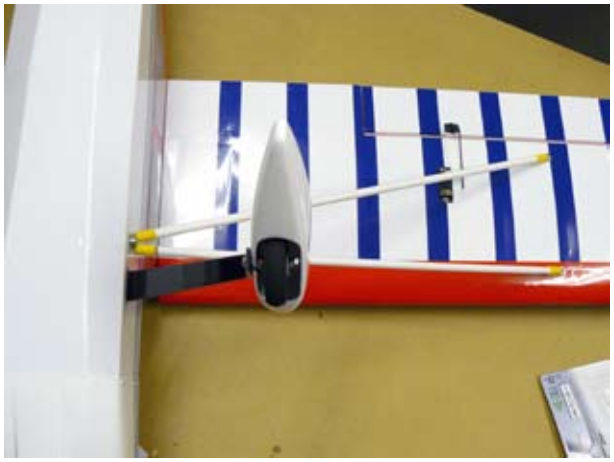


モーターマウントを胴体に取り付けます、エポキシ接着剤と 6 個のタッピングビスで固定します、その後モーターを取り付けます。

Copyright © 2007 Assist-RC

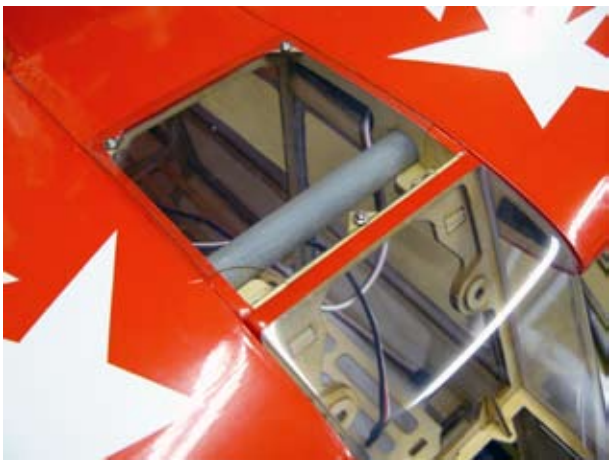
カウルを取り付けます。



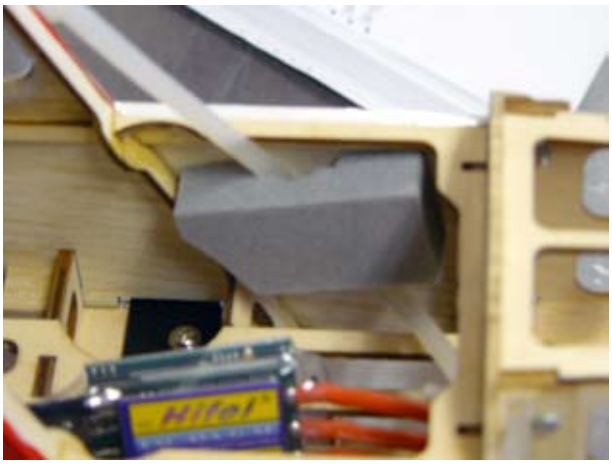


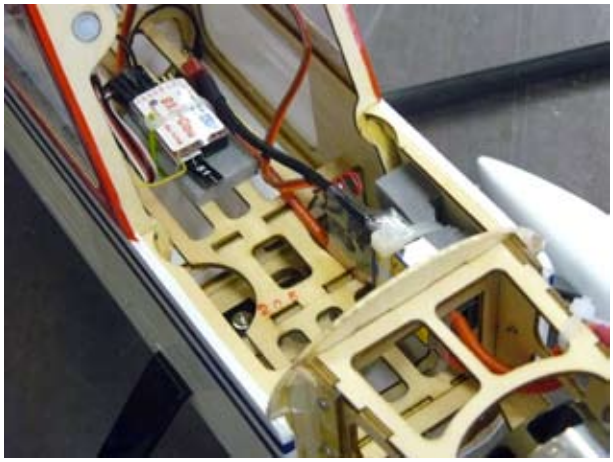
主翼ストラットを取り付けます、胴体と主翼には下穴が開いています注意して探してください。またストラットは長さがあっていません適時カットして合わせてください。胴体、主翼側と金具の曲げ具合を調整してぴったり合うように作ってください。

Copyright © 2007 Assist-RC



胴体上部窓部分のセルを取り付けます。





アンプの取り付け。例ウレタンスポンジとタイラップを使ってアンプと受信機を固定します。
又延長コードやモーターのコードなど遊んでいる部分もタイラップで固定します。

Copyright © 2007 Assist-RC

胴体窓部分を接着します。

完成機のカット

重心位置、主翼全縁より50－65mm位からお好みに合わせて調整してください。

推奨パーツ　モーター　エンルート 41 ｼｮｰﾄ　KV1100

アンプ　Hifei 45A

レシーバー　MKS　マイクロレシーバー8ch

サーボ　エンルートSV9gサーボまたはSV9gデジタルサーボ

スーパーデカスロン

幅　1230mm

長さ　840mm

重量　1200－1250g

翼面積　25. 83dm2

ラジオ　4ch4s1ｱﾝﾌﾟ

モーター　エンルート 32 ロング～41ショート

ｱﾝﾌﾟ　HIFEI－45A

参考データー

APC ﾍﾟﾗ	電流	回転数
10＊7	29	8400
11＊5, 5	30	8200
11＊7	32	7900
12＊6	37	7300

Copyright © 2007 Assist-RC